

川口 宏之 (かわぐち ひろゆき)

公式サイト <http://kawaguchihiroyuki.com/>

公認会計士

川口宏之公認会計士事務所 代表

【プロフィール】

すべてのビジネスパーソンにとっての必須スキルである「会計」を、基礎から分かりやすく伝授する公認会計士。受講前は「会計は難しくて苦手」「数字の羅列を見ただけで吐き気がする」と言っていた受講者も、受講後は「すんなり理解できた」「驚くほど簡単だった」という感想を漏らすほど、圧倒的な分かりやすさが強みの人気講師。

職歴としては、監査法人での会計監査、証券会社での引受審査、ITベンチャー企業の取締役CFO、会計コンサルタントという、4つの視点で「会計」に携わった経験を持つ。専門的な会計知識に加えて、ビジネスに役立つ会計スキルの活かし方も兼ね備える。

2012年から、これまでの知識や経験をもとにした会計関連の研修・講演活動を開始。特に、決算書の読み方・分析の仕方をテーマにしたセミナーでは、図を使った独自のメソッドが話題となり、これまで延べ1万人近くの会計オンチの受講者を救ってきた。受講者満足度は、**5段階評価で平均4.8**を超える実績を持つ。

2013年には、そのメソッドをまとめた著書『決算書を読む技術』（かんき出版）を上梓。分かりやすさが口コミで広まり、**2万7500部**のベストセラーとなる。発売から6年が経つ現在も売れ続けており、増刷に増刷を重ね、現在は**11刷**にまで達している。同時期より「夕刊フジ」にて連載を開始。毎週、異なる企業の決算書をピックアップして図解で分析する、という連載が好評を博し、半年に一度で紙面が入れ替わるのが常識であるにも関わらず、なんと5年半もの長きにわたる異例のロング連載を記録する。2018年11月には、新刊『いちばんやさしい会計の教本』（インプレス）が発売となり、予約注文だけで、**Amazonランキング第1位を5つのカテゴリーで獲得**した。

欧米と比べると、日本では、会計（アカウンティング）に対して毛嫌いしている人や苦手意識を持っているビジネスパーソンが驚くほど多い。そのため、ビジネスパーソンの会計スキルが向上すれば、日本企業の価値が向上し、ひいては日本経済の持続的成長に繋がる、という信念のもと、「会計」をテーマにした講師活動、執筆活動を精力的に行っている。

【登壇実績】

東京商工会議所を初めとする各種団体や、SMBCコンサルティング、プロネクサスなどの研修会社主催のセミナー、総合商社や製造業などの上場企業の社員研修など、多数の研修・セミナー・講演を行う。これまで延べ**140社以上**の会社・団体で研修・セミナーの登壇実績あり。

【著書】

- 『決算書を読む技術』（かんき出版）
- 『決算書を使う技術』（かんき出版）
- 『いちばんやさしい会計の教本』（インプレス）

【連載】

- 『新人経理マン金児浩平の注釈書』（税務通信）
- 『ニュースな会社「会計のウラ側」』（プレジデント）

